

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年 3月 31日

2次評価日（課長等） 26年 月 日

1 事業名	コミュニティーバス運行事業	コード	142101
-------	---------------	-----	--------

2 担当部課	部等 経済部	課等 商業観光課	作成者 佐藤 嘉泰
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政 策	交通網の整備	施 策	公共交通網の整備
		予算科目	シルキーバス運行事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	移動手段等を持たない市民等が、買物や通院、通学、公共施設の利用のための移動手段としてシルキーバスを利用する。		
目的	対象者	市民及び観光客	
	意 図	公共交通空白地の解消を図り公共施設の利用促等に努める。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	シルキーバス及びジャンボタクシー（シルキーミニバス）の運行。10月に運行ダイヤの見直しを行った。 【運行バス路線】 ①今井・長地線 ②長地・今井線 ③市街地循環西ルート線（一部：ジャンボタクシー運行） ④やまびこ公園線（ジャンボタクシー運行） ⑤市街地循環東ルート線 ⑥川岸線 ⑦川岸橋原線（ジャンボタクシー運行）		
前年度の課題への対応	利用者の声にできる限り応える形で路線、運行ダイヤの見直しを行った。また、利用率の低いシルキーミニバスの運行形態を見直し、利用しやすいようにした。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	年間総輸送客数			単位	人
実績値	143,086	153,550	154,750		
*指標の説明	年間の総輸送客数				
② 成果指標（指標名）	年間総輸送客数			単位	人
目標値	139,000	139,000	144,000		
実績値	143,086	153,550	154,750		
達成度	102.9%	110.5%	107.5%		
*指標の説明	16年度から現在の9路線となる。				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の平均実績値（千人未満四捨五入）				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	2,125,125	2,026,000	53,645,850	52,888,000
経常経費	67,125	0	0	0
臨時的経費	2,058,000	2,026,000	53,645,850	52,888,000
* 臨時的経費の説明	運行経費から収益を差引いた差額を運行事業者に補填しているため			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000
正規職員の人数(人)	0.63	0.63	0.63	0.63
③ 合計コスト(①+②)	7,165,125	7,066,000	58,685,850	57,928,000
前年度比		98.6%	830.5%	98.7%
財源内訳				
一般財源	7,165,125	7,066,000	58,685,850	57,928,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	36	33	33	
前年度比		92.0%	99.2%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
シルキーバス運行事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	43,621,146	48,297,921	47,992,824	52,782,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	43,621,146	48,297,921	47,992,824	52,782,000
	割合	2,052.64%	2,383.91%	89.46%	99.80%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	100.8%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	107.5%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 路線、運行ダイヤの見直しを行っているが、利用者のすべての要望に応えることは困難であり、利用者の増につながっていない。 年々、高齢者の免許保有率が上昇しており乗車人員が減している。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 路線、運行ダイヤの見直しを実施するほか、他路線との統合を前提に根本的に見直す。	
改善方法		
改善開始時期	平成28年4月予定	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---